



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和5年9月19日(火) 発行 第5号 特別号



『体力向上 健康教育 講演会』

校長 田代 雅規



WBC 前監督 栗山英樹氏を招いての講演会を
9月5日(火)に中野中の体育館で実施しました。

当日は、中野中生の他に学区の小学校の桃園第二小学校、桃花小学校、平和の森小学校の6年生の児童も招待し、来賓及び中野中の保護者の皆様とあわせて、合計750名以上の参加がありました。

栗山監督は、ステージから体育館の児童・生徒の中に入り、たくさん質問していただき、とても楽しい講演会となりました。以下、講演会の内容をご紹介します。



🎯 = 栗山監督 😊 = 質問者



🎯 こんにちは。大谷翔平です。

わかりますか、僕のこと。わからなければ自分で説明しますけど。始めていいですか？

WBC 見てくれた人。(手あがる) いますね。

小学生のみんなに聞いちゃうよ。僕にどんな話をしてほしいか。つまらなくなったら手をあげてね。話、変えるから。じゃ、君。

😊 ○○○ソウタです。WBC 優勝の秘話を教えてください。

🎯 いいこと聞くわあ、アナウンサーみたいなこと聞くね。

😊 ○○○タケハルです。大谷選手を二刀流に選んだの



は監督だそうです、なぜ二刀流にしたのですか。

🎱 大谷の話、聞きたいよね。それも話に入れようね。

😊 ○○○リュウセイです。山田哲人の現在を教えてください。

🎱 ははは、山田哲人ね。ずっと一緒にいるわけじゃないけど、元気です。（※5月までヤクルト一軍登録抹消、その後復帰）

😊 ○○マサキです。栗山さんは守備の上手な選手だったので、守備がうまくなるコツを教えてください。

僕は、野球やっていないんですけど。

🎱 現役の時の何か見たの？ ユーチューブ？ 本当はあまりうまくないのだけど。うまいと言ってくれてありがとう。

😊 野球のどんなところが好きですか

🎱 野球は人が点を入れるのです。サッカーやバスケットはボールをゴールに入れるけれど、野球は人が走って来て点になる。だから、協力がなくてできない。難しいことができるって嬉しいでしょ。野球をやっている子いる？ 君、野球のどこが好き？

😊 勝った時とか。チームプレーなので協力して勝った時が嬉しいです。

🎱 監督にとって大切なことは何か、それも話に入れていこう。ぜひ、聞いてください。中学生、聞きたいことある？

😊 ○○○ゴウタロウです。野球やっていました。グローブに興味があって、どう手入れしていましたか？

🎱 グローブって硬かったのだよ。水につけてぐじゃぐじゃにしてから乾かしてオイルを塗って。君はどうしていた？

😊 湯もみとか。

🎱 湯もみやっていた？ さすがだね。

😊 ○○○マオです。ふだん食べているものは何ですか。

🎱 マオさんは何を食べているの？

😊 パンとか。

🎱 僕はここに来る前におにぎり食べてきました。

😊 ○○○エイタです。村上宗隆選手の不調の時どう思っていましたか？

🎱 いい質問だね。村上のことも聞きたいよね。さっきの秘話とか選手がどう頑張ったか、話に入れましょう。

ここに来た時に、階段の絵や新聞に感動しました。どんな話をしようか、いろいろ持ってきたけど、全部話すと明日になっちゃう。これは大谷がアメリカに発つ前に（ファイターズの）ホワイトボードに描いていった絵。こんなのをたくさん持ってきました。

世界一になりました。みんなは世界一になりたいもの、ある？ そこから大きな声で言って。それとも降りて行っちゃう僕？

😊 野球！

🎱 名前は？ そうか。○○くん、日本代表に言っとくよ。

😊 サッカーです。

🎱 好きな選手は？

😊 少し古いのですが、ロナウジーニョが大好きです。



🎯 大好きな選手のイメージがあるといいね。

😊 ○○○です。サッカーで三苫選手みたいなドリブラーになりたいです。

🎯 三苫選手より○○○と言われる時代が来るよ。

🎯 中学生は？もっと現実的？

😊 安定した仕事。

🎯 ははは、安定ね。好きなことやって頑張ろう、安定するために、ってことだね。僕もそうかなあ。好きなことやってきて、でも僕は安定してないけど。僕、大丈夫か？ 今回の WBC のメンバーは 2006 年（王監督）、2009 年（原監督）の WBC 優勝を見てきた世代。この写真は誰か分かる？ そう、吉田正尚選手。準決勝で同点 3 ラン打った。



マサタカは、その年にアメリカに参戦したばかり。大リーグ 1 年目は環境に慣れたりする準備が大変なので WBC には入れない。でもマサタカは僕に連絡してきた。僕は「大谷や松井でも 1 年目は本当に苦労したのだ。俺が親父だったら、君によく考えろと話すよ」と話したが、「でも、僕の夢なのです」とマサタカはひかないのだ。

こんなに魂があって、自分でやると言った選手なら大丈夫だと思った。

大谷や一流選手は何をいつも思っているのだろう。

人って「何ができる」「何ができない」って 5000 ぐらいパターンがある。良いほうもあれば悪いほうもある。

今できなくてもいいのだ。1 年後、2 年後、3 年後にできればいい。

今回の選手は、勝ちきれぬメンバーを選んだ。勉強みたいに考えて、世界一を達成する要因を追究した。正直、「この理由です」というのはないけれど。

この写真は誰ですか？

「源田（壮亮）」 源田はどうなりましたか。

「怪我した」 怪我って普通に考えたらいやなこと、なってほしくないことだ。でも、そういうことが人を変える。

（1 次ラウンドの）4 試合のうち、キモは、2 試合目の韓国戦だった。ショートにはゲンちゃん一人しか考えていなかった。韓国戦は先発のダルビッシュが 3 回に 3 ランを打たれ、3 点リードされて始まった。その裏の攻撃、先頭打者のゲンちゃんは四球を選び、すかさず二盗。（牽制球の帰塁で）滑り込んだ時に小指がスパイクにひっかかった。見るからに小指が 90 度ありえない方向に曲がっていたけれど、ゲンちゃんは指だけちょっとベンチで治療して、二塁に戻った。



こういう時に監督がすることは、先生も親御さんもそうだけど、ひとつは決める係です。もうひとつは、みんなが一番やなことをする（ゲンちゃんを外すか否か）。これ、監督のルールです。

前から、ショートは一人しかいないので「怪我だけはかんべんしてくれ」と本人に話していた。でも怪我は起きる。

その夜、僕が信頼している城石憲之コーチから電話があった。城石はものをはっきり言う人で、「僕はこう思っています」と言ってくれるから信頼している。「ゲンちゃんこのまま行けるのかなあ」と聞くと、その城石が「いや〜〜〜」とはっきりしない。「骨折したのは分かっている。どっちだ？」と言っても「いや〜〜〜」。

彼は、僕に自分の思いを言うと、僕が判断に迷うと思っているのだろう。「言ってくれれば素直に判断するから、ゲンちゃんについていてくれ」と頼んだ。

次に岸七百樹マネージャーから電話があった。「城石と話したよ。ゲンちゃん行けるかなあ」というと、岸も「いや〜〜〜」。「岸、いいか、公私かまわず俺に言え、判断基準にしたい」というと、岸は、「ゲンちゃんは号泣しながら、『指 1 本は大丈夫なのです』と言っています」と言う。全然意味わかんない。ふざけているのじゃないかと思った。

この写真はゲンちゃんが指に添え木して、投げているところ。アメリカのボールはくせがあって、指の先で投げると弧を描いて飛んでしまう。ゲンちゃんは、ものすごく練習していた。どんなボールがきても受け取れるように練習していた。全部の指に骨折経験があるそうだ。ゲンちゃんの“骨折理論”によると、指1本の骨折だったら野球はできる、ということだそうだ。選手の交代は（この試合から）2日以内に言わないといけない。日本が勝つためにはどうしたらいいか。すごく迷った。

韓国戦のあと、東京ドームでの練習中、ベンチから振り返ると、すごく狭い通路でゲンちゃんがキャッチボールをしていた。「監督、僕はひきません」って見せつけるように。ゲンちゃんの投球の様子を城石に聞くと「ボールはきていますね」と言う。練習が終わってゲンちゃんと話すことにした。

その時、栗林（良吏・投手）選手もギックリ腰になっていた。見るからに無理な感じで、腰をかばって歩いていた。トレーナーは「2週間後にはベストな投球ができます」と言っているけど、腰をかばって投げると肩を壊す。将来を壊したくない。そのふたつの問題があったのだ。

他人がダメと言ってもできることがある。逆に他人ができると言ってもできないこともある。

「ゲンちゃん、指、どう？」

「痛くないですよ」

「汗かいたり、お風呂入ったり、血流良くなったら？」

「痛くないです」

「バット振ったら痛い？」

「痛くないですよ」

……これはもう、何言っても痛いって言わないと思った。

自分が辛い時、仲間のためにベストを尽くす。「なんでそんなに強いのだ」とゲンちゃんに聞きました。

「言ってもいいですか」とゲンちゃんは言った。「僕は選ばれました。僕が日本のためになる、と決めて来たのです」。本気になっていた。

情に流されて決めたのではない。「この魂に賭けたほうがいい」と思った。それが、胸にストンときた。

「ゲンちゃん、行くぞ。一切、怪我していることを忘れて使うからな」と言った。

試合後に、ドームを出ていくシーン。「源田さん続けるってやばい」、「どこまでメンタル強いのか」と選手たちが源田の背中を見ていました。源田の姿がチームを強くした。

これはまずい、うまいかねえな、というピンチは、自分が本気で必死になっている時なので、自分が変わるチャンスです。



😊 ○○○ウミです。監督って収入どのくらいですか。

🎯 ジャパンの監督はボランティアと言われていて、日本ハムファイターズの監督をしている時の半分ぐらいかな。

😊 現役の時の収入は？

🎯 お金が好きなの？笑 最高で 2000 万円かな。たいした選手じゃなかったから。みんなのお父さんの方が貰っているでしょう。

😊 ○○○リュウジです。先生じゃなくてプロ野球にいったのはどうしてですか。

🎯 ○○○くんは、夢はありますか？

😊 歴史を学びたいです。

🎯 歴史はいいね。『歴史人』という雑誌で対談させてもらうよ。1 2 月ぐらいに出るから良かったら読んでみて。宣伝してしまった。（※ABC アーク出版 毎月 6 日発行）
学校の先生になりたい人、いる？あなたは どうして先生になりたいと思ったの？

😊 担任の先生を見ていてです。

🎯 いいね！ 先生は大変だよ。

僕は、教員免許を取らないと卒業できない教員養成大学を出た。でも、野球は今しかできない。プロテストも受けまくって、たまたまヤクルトに拾ってもらいました。



なんで村上が打てないのに使っていたか。それを話そう。みんな目をつぶってください。今日は1月1日、元旦です。そう思うと、今年目標とか決めたくなるよね。「決めない」、いや、決めたほうがいいな。毎日元旦だったら、目標が続いて自分が向上できる気がしない？しでかしちまおうかな、と最後に決めるのは自分。選手は結果が出なくて苦しんで成長する。3冠王とつたムネに「いつかお前で勝負する」と期待していた。全選手に手紙を書いた。「あなた自身が侍ジャパんです」って。



「あなたが中野中学校です」と言われたらどう？「ちょっと頑張らなきゃ、他人事にしない、自分でなんとかしなくちゃ」と思うよね。ベンチの選手が誰よりも勝ちたいと思ってないと勝てない。電話で選手発表したのも、手紙も、そういう思いからです。ムネにも「絶対お前で勝つ」と伝えた。

（準決勝・メキシコ戦は）佐々木朗希が先発。たった1球、高めにいってしまったのを打たれ、3点差。4回、5回、6回とチャンスはあったのに0-3のまま。完全に負けパターンだ。こういう時、監督って焦る。「絶対チャンスは来る。お前が負けさせるなよ」と自分に言う。大観衆の声の中、自分の中は無音なのだ。電話ボックスの中みたいに。

大谷が出て、吉田が3ラン打って追いつくが、また取られる。頭の中は「2点ビハインド、攻撃できるのはあと2回」と集中して動いている。バッターはゲンちゃん。甘いストライクなのに、バントの構えのゲンちゃんがファウルを続けている。バントのうまいゲンちゃんが……。ああ、そんなに緊張しているのだ。あのゲンちゃんですらも……。

そんな緊張の中でも犠牲フライでようやく1点かえす。

次は大谷から。ホームラン打ったら同点だ。スポーツで大切なのは状況判断。サッカーなら、ここは、シュートかパスか、判断を間違えたらおしまいだ。ショウヘイはバットを短く持った。ベンチを出る時に「俺が塁に出るからあと頼む」とチームメイトに告げて。

ショウヘイは、ホームランは捨てていた。そして二塁打を打った。セカンドベースからチームメイトをあおった。

「来い！来い！」。さっきの映像はそう言っている場面だ。

吉田が四球を選び（代走：周東佑京）、俺は城石に「代打の牧原（大成）は準備できているか？」と聞いた。ふだんは、「ハイッ！」と答える城石が、「はい？」とへんな返事をする。この、微妙な間はなんだ。こいつ、俺に何か言いたいのだなと思った。

一瞬、ブワーツといろいろなイメージが走った。何秒間かの間に、プラスとマイナスのイメージが頭をよぎっていく。

ゴロ打ったら、バント失敗したら……。

前の回のバントを思い出した。ゲンちゃんが緊張するほどの場面で、牧原に代打バント？

「ムネのところにもう一回行ってくれ」と城石に頼んだ。どう負けたら、ファンも納得できるか。バントで失敗して負けてどうする。「ムネと心中だ」。ストンと落ちた。

あとで城石に、「俺に何か言いたかったら」と尋ねると、「牧原に代打だから、バントの準備をしると言ったら、真っ青だった」と言う。みんながチームを勝たすために必死だった。

3球目だったかな、ムネがシュートを打って、サヨナラ安打。打ったとたんに選手がブワーツと前に出たから、僕は打球がどこにあるか見えない。見たのは一塁の周東が激走を始めたところだ。間に合うのか。彼は足のスペシャリストだから、だから頼むよ。

あとで周東に聞いたら、「あれは絶対抜けるのです」と言う。「村上は調子悪かったけど、左中間には、打った打球は伸びていたのですよ。僕ら、試合出なくてもちゃんと見ていますから」

こういう関係があって、みんなが必死になって、神さまはこういう時には、勝たせてくれるのだなと思った。

大谷の話をするのだったね。

ショウヘイは小学校の時にノートに3つの約束を書いた。

「1、大きな声で返事をする 2、一生懸命走ること
3、一生懸命キャッチボールをすること」

これは、2016年、ショウヘイがファイターズにいた時に僕の携帯に送ってもらった写真。(大谷、ひとりで黙々とバッティング)。日付を見て！12月24日。夜中の1時。チームのスタッフが、「クリスマスプレゼントです」と送ってくれた。

クリスマスは大切な人と過ごしたい日なのに、ショウヘイは合宿所で朝までひとりバッティングだ。ただひたすら、こういう風にプレーできたら、と思いながら。みんなもゲームをやっている、「クリアしなきゃ」とかやるでしょ？

ショウヘイは、頑張っているのではない。努力しているのではない。自分がどうなりたいか、そこに向かっていただけだ。「たまには夜遊びにいったら女の子と酒飲んだりしないの？」と聞くと、ショウヘイは「それ、楽しいですか？」という…。僕は楽しいと思うのだけどね、一応、「いや」と答えたら、ショウヘイは、「ですよ～。今だけちょっと楽しいとか、ないですよ。だって僕が打ったら5万人が固唾を飲んじゃうですよ」

決勝のアメリカ戦。ダルとショウヘイに「投げてくれ」とは一切言うまいと思っていた。「監督、俺、投げましょうか」と言ってくるまで。ダルは、アメリカに行ってから調子が上がらず、「パドレスも大事なチームなので、開幕に向かって準備したい」と言ってきた。だから「わかった。若い人たちの面倒を見てくれ」と頼んだ。でもダルが部屋を出ていく時、呼び止めたのだ。「もし、決勝でどうしても投げたくなったら言ってくれ」と決勝の前、コーチから「監督、ダルが投げると言っています」と言ってきた。何が言いたいかと言うと、ここだけ聞いてくれ。

不安の中、今にもできないことがあるけれど、やり方と出し方が分からないだけで、(向き合っていれば)これまでとは違うステージがくる。

ショウヘイは、人ができないことが大好き。たとえばホークス戦(開幕前の練習試合)の時に、俺はショウヘイに「1番ピッチャー大谷、で行くぞ」と言った。先頭打者で出て、その裏は投げなくてはいけない。「いいよな。ホームラン打って、すぐ帰って、ゆっくり投球準備すればいいのだよな」と言う俺に、ショウヘイは何とも言えないニヤリという顔をした。誰でも、そこに向かっていけば力が引き出される。1か月先でも3年先でも。特にみんなには時間があります。必ず人は変われます。

人の体は、力を持っているので、みんなができないと思っていることでも、いつかはできる。人間ってそんな力を持っています。それを証明したのが大谷翔平です。



【質疑】

👤 3C 大谷昂之朗です。オオタコと書いてオオヤと読みます。打順の変更の場面で、最後まで物事をやり通すためにはどんな苦労をしましたか。

👤 ものを決める作業って、大切な作業です。答えが出ないとやめなくなっちゃう。でも日本のこと、チームのことなので、やめるわけにいかない。これってバントのケースの逆かな。眠れないというより、考えていて、眠る時間が少なくなる。ストンと来る、あ、これだと思っ瞬間まで、自分が納得するまで考え続けます。

👤 3C 佐藤玲那です。現役の時、お病気などで苦労されて、どう過ごされましたか？



🕒 調べて下さったんですね、ありがとう。メニエール病で、選手時代、そこにバタンと倒れちゃうような状態でした。入院した時、母が枕元にいたのです。僕が寝ていると思ったのでしょうか。「私が替わってあげたいよ」と泣いていました。それを聞いて、「おふくろより僕がかかったほうがいいや。若いし、体力あるし」と思いました。その後は、結果に苦しむより、野球を思い切りできるのが楽しくなり、自分が変わりましたね。

😊 3A 大谷日隆人です。

🕒 オオタニって流行っているの？

😊 僕はWBCの投手の共通点はストレートがいいところだと思います。

🕒 その通り。バスケットもそうだよ。3ポイントが入りにくいとか。日本野球はスモールベースボールと言われるけれど、僕はアメリカにまともにぶつかりたかった。村上が打って、投手が頑張る。遠くに飛ばず、早く走る、しっかり守る。野球の原点でぶつかって勝つので満足です。そうやって見ていただいて、ありがとうございます。



【挨拶】

3C 高山怜美さん

テレビで興奮していました。

私は野球部の部長をしています。指示を出すとき、はっきり言えなかったのですが…

顧問の先生にできていたことを言っていたいて…

野球って本当に楽しいのだと思えて。高校では野球ができるかわからないのですが、いい思い出になったし、大きな起点になりました。いままでの野球人生に自信を持ってました。栗山監督のお話は多くの生徒にとっても大きな影響を与えたと思います。今日はお時間を割いていただき、ありがとうございました



【栗山監督の講演会を聞いての生徒の感想】

○私は、野球にあんまり興味や関心がなかったけれど、今回、話を聞いたり、映像を見たりして、とても深いスポーツなのだと思います。お話の中にもあったひたすら楽しんで打ちまくるという大谷選手動画や監督に熱心に意思を伝える源田選手の熱意が話の中から伝わってきて野球というスポーツがおもしろそうだと思って興味がありました。そして、こんな貴重な体験ができたので今後につなげていきたいです。(1年生)

○僕も本気でサッカー選手を目指していて、サッカーでいうワールドカップで活躍したい気持ちがあり、努力しています。今回の話を聞いて、スランプになったときにどれだけ粘って頑張れるかを考えました。必ずやってくると思うので、そのチャンスをつかみとり、サッカー選手になります。貴重な話を聞かせていただき、ありがとうございました。

○どんなことも諦めずに頑張るのが大事だと思います。大きな声で返事、これをこれからの生活の中でしていきたいと思いました。話を聞いていて、栗山監督の人柄の良さや笑いのセンスを感じてこんなにも素晴らしい人だから

こそ、日本を優勝に導くことができたのだと思いました。

○栗山監督さんの話を聞いて、薬指が折れてしまっても、それでも頑張れる源田選手の話聞いて、すごいなと思いました。あと「チームが侍ジャパンじゃなくて、一人ひとりが侍ジャパンだ」と聞いて、私も中野中の一人なのだと感じる中野中にするために頑張っていこうと思いました。(2年生)

○人を信じることは、簡単ではないけれど栗山監督は、人を信じる力があるのがすごいことだと思います。また、選手について考えて、一人ひとりに手紙や電話をして WBC にかけていた思いがよく伝わってきました。栗山監督の話から人に感謝する気持ちを学ぶことができました。

○私は、WBC はテレビで見っていました。日本が優勝できなのは選手個人の實力はもちろん、監督の的確な判断、コーチなどの支えの力だと思います。怪我などのアクシデントもあったけれど、チーム全員がそれを乗り越えていけたからこそ優勝できたのだと思います。栗山監督のお話全てが、すごく興味深くて、私もこのような仲間がほしいと思いました。

○私は、栗山監督のチームが出来上がってから優勝するまでが撮影されたドキュメンタリー番組を見たことがあります。それを見て私は、「私にはとうてい届くことのできない場所だな」と思っていました。ですが、今回栗山監督の話聞いて、それは違いと分かりました。栗山監督は、「好きなことを続ける。」ことについて話していて、「私は好きなことは、ずっとどんな自分になっても好きなままでいいのだ」ということが分かりました。(3年生)

○私は、栗山監督のお話を聞いて、自分に限界を作ってはいけないなと感じました。大谷選手の話の時に、「彼は人にはできないだと言われていることをやるのが好き」「彼はできないと言われていることを普通にやっちゃう男だ」という話を聞いて、私はいつも自分にこんなことができるはずがないと思ってしまうことがあるけれど、そう思ってしまったら終わりなのだと思います。できてもできなくてもやると決めた目標に向かって全力で努力し続けること、失敗してもそれをチャンスだと思って、また更に努力することが大切なのだと感じる事ができました。これからどんな苦しいことがあっても今日、栗山監督が言っていたことを思い出して頑張っていきます。

○大谷選手などの一流選手は、小さい頃から人から見える所、見えない所で地道に努力を重ねていて、その努力があって今の一流選手が形づくられていることが分かり、努力することは結果に結びつく大切なことであると感じました。また、自分が上手いかない時でも、その逆境をいかしてやる気を出し、チャンスに変えていくことができるという話は、今の自分の状況に大きく重なり、課題に追われこれからが心配になっている今こそ、その状況を悲観的に見るのではなく、やる気を起こす努力をしてみることは、その後の良い結果につながるだけでなく、自分の気持ちを楽にしてくれるものであることが分かり、前向きな気持ちをもつことができました。そして、努力の先は自分の心にストンと落ちる瞬間があり、その瞬間を自分も感じられるよう、努力を惜しまずしていきたいと感じました。栗山監督の隣りに立って質問させていただいたことは、一生の思い出になりました。本当にありがとうございました。

